

「土佐派絵画資料目録」も「肖像粉本(二)」として二冊目を発行することができた。刊行は今後も年間一冊のペースで続けるつもりである。しかし予算の都合、毎号小冊子程度の図録にならざるをえないため、一度に紹介できる資料数は百点強に止まる。このことは資料の公開を待ち望む諸氏には、全く申し訳ないことなのだが、定期刊行を守ることでご容赦願いたい。

この目録から本の体裁が左開きから右開きに変った。戸惑われた方も多いかと思うが、今後はこの体裁を継続するつもりである。当初、既刊の本館収蔵品目録と体裁を統一するために左開きにしてしまったのだが、卷子や帖仕立のものを含む本資料の形態から、必要があって変更を余儀なくされたものである。そのかわりといっては変な話だが、一図の図版面積を大きくした。編集者も未だ試行錯誤の中にある、それに多少なりともよいものにしたい欲もあるので、今後も若干の変更が生じることはあると思う。

「土佐派絵画資料」における肖像粉本はこの2冊でほぼ尽きている。「肖像粉本(一)」には主に実在の人物を写生することによって生まれた写實的肖像粉本を集めたが、「肖像粉本(二)」では模写や創作によって産みだされ伝えられた創作的な人物粉本を収録した。ただ後者は柿本人麿を収録したため、歌神である住吉明神や玉津島明神という神像が含まれてしまった。その意味ではかなり便宜的な分類となっている。

特定の人物像を描いてこの両目録に収録されていないのは道釈人物と神仏像類である。後者は数的に少ないが、前者は漢画的画題であるにもかかわらず、寒山拾得図や賢聖像を含み意外に大きなグループを作っている。そこでこれらは別の目録とするために割愛した。(松尾芳樹)

土佐派絵画資料目録彙報 とさえ 第2号

1991年12月1日 発行

編集発行：京都市立芸術大学芸術資料館

京都市西京区大枝沓掛町13-6

TEL 075-332-0701